

地域提案型

平成21年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	タイ
2. 事業名	文化財をとりまく環境整備と博物館を核とした地域振興
3. 事業の背景と必要性	<p>市民生活をより豊かにするのは、経済に頼るだけではなく文化力も重要である。博物館が地域の活性化の核となりうるためには、第一に博物館に地域住民の興味・関心を惹きつける必要がある。そのためには、文化財を適切な環境で公開しながらも、魅力的な展示をする必要がある。本件事業は、過年度の草の根技術協力事業の成果を受け、九州国立博物館が文化庁との共催によりタイ王国バンコク国立博物館で海外展を開催するに当たり、タイ王国の文化財の保存・展示環境の整備、展示会の運営方法等について、博物館の保存担当者、展示担当者にノウハウを伝授することで、より魅力的な博物館を創造し、博物館を核とした地域の振興に寄与しようというものである。</p> <p>九州国立博物館は地域からの長い誘致運動が結実し設立へと至った。従って、博物館の諸活動は「市民とともに」を標榜しており、こうした考えは展示会における展示会運営や展示手法、教育普及プログラムなどにも現れている。また、地域住民の方からも博物館の諸活動に積極的に関わっていただくなど、博物館と地域が共生している。こうした取り組みは、日本国内でもほとんど事例がない。</p> <p>また、同博物館では、文化財の収蔵環境の整備、文化財危機管理、文化財修復を専門とする博物館科学課を設置し、文化財の保存と公開の両立に努めている。また、文化財保存に係る最新設備を導入し、文化財の現状を診断しうえて、文化財を後世に伝えるために必要な保存修復を行う設備と人材を整えており、本件協力が実現するに至った。</p>
4. 事業の目的	文化財の保存・展示環境の整備、展示・展示会の運営方法に係る人材育成を通じて、より魅力的かつ地域を取り込んだ博物館を創造し、ひいては博物館を核とした地域の振興に寄与する。
5. 対象地域	バンコク市
6. 受益者層	バンコク市民
7. 活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 博物館における展示ケース等をはじめとする文化財の展示環境管理及び危機管理に関する基本的な手法を修得する。 2) 博物館における効率的な展示会運営のノウハウを修得する。 3) 博物館を核とし、文化財や文化遺産を地域振興の資源とする気運が高まる。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 九州国立博物館が文化庁と共同で、タイ王国バンコク国立博物館で開催する展示会に際して専門家を現地に派遣し、実際の展示会準備の中で、現地の博物館の保存担当者、展示担当者と協働しながら、デモンストレーション等を中心に技術移転を図る。 2) 展示会の運営や展示会の中で実施するイベントや教育普及の取り組みを通して、地域を取り込んだ博物館・展示会の運営の方法を伝授する。
8. 実施期間	2010年12月～2011年3月
9. 事業の実施体制	タイ国立博物館事務局及びバンコク国立博物館を相手国協力対象機関として、九州国立博物館が実施。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名 (提案自治体)	福岡県（提案団体）、九州国立博物館（実施団体）
2. 対象国との関係、協力実績	<p>2007年度から2009年度まで草の根技術協力事業地域提案型「文化財の保存と地域の活性化」を実施。本事業は、文化財を利活用したタイの地域発展に寄与することを目標とし、博物館を中心に「文化遺産をいかに保存・活用」して、それを「どのように地域社会に還元していくのか」に焦点をおいたプログラムであり、専門家派遣と研修員受け入れを実施した。現地の博物館関係者に対して、本邦専門家によるセミナーを開催したほか、毎年3名の博物館学芸員を受け入れ、3週間の研修を実施することで、文化財の保存活用の中核となる博物館関係者の意識啓発を図ったほか、研修員を中心として、タイのそれぞれの博物館において抱える課題に対する新たな取り組みへの気運醸成に繋がった。</p> <p>また、3年間の事業を通して、九州国立博物館やその地域住民とタイ王国の国立博物館関係者との間に強力なネットワークを形成。</p>